

2019年1月11日
日興アセットマネジメント株式会社

「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」は、2019年1月10日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

当期の分配金と設定来の基準価額推移



<当期の分配金>

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(1万口当たり) 2019年1月10日現在	9,022円

<基準価額の推移>



※ 基準価額は信託報酬(年率1.3392%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。

今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。

■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

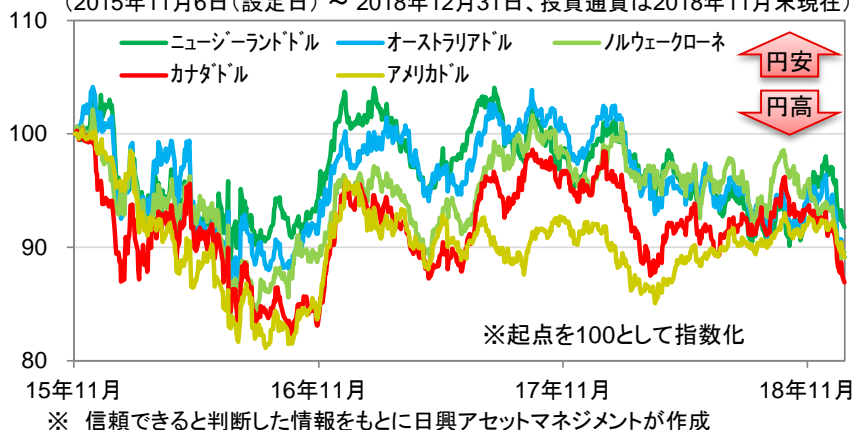
運用概況と投資国の見通しについて



- 今期(18年7月11日～19年1月10日)、日本と欧州では緩和的な金融政策が続いたものの、米中貿易摩擦の激化が地政学リスクを拡大させました。欧州の経済成長が予想を下回る一方、カナダ経済は米国の景気拡大の恩恵を受けると見込まれたため、18年10月にユーロ建て債券を売却し、新たにカナダドル建て債券を組入れました。その後12月下旬には市場心理の悪化から円が買われ、組入れ通貨は下落しました。
- 米国では、長期金利の上昇や米中貿易摩擦の激化が18年10月以降の株式市場の下落につながりました。堅調な経済を受けて、FRB(米連邦準備制度理事会)は18年中に4回の利上げを行ないましたが、19年の利上げペースはより緩やかなものになるとみられます。また、力強い消費を背景に、19年も堅調な経済成長が維持されるとみています。
- ニュージーランドでは、労働市場を中心に経済指標が市場予想を上回ったことなどから、通貨の見通しが改善しました。一方、中央銀行は政策金利を過去最低の1.75%に据え置いているものの、今後の金融政策の方針が変更される可能性などを考慮し、ニュージーランドドルの投資比率を引き下げました。
- オーストラリアでも、政策金利が過去最低の1.5%に据え置かれています。中央銀行はインフレ率の上昇と失業率の更なる低下をめざし、政策金利を低水準に維持することの必要性を強調しています。そうした中、同国の労働市場は足元で強い回復を示しています。同国の成長は今後も続くと思われていますが、住宅市場の下振れや中国経済の減速などの影響を注視しています。
- ノルウェーの経済成長は継続するとみられる一方、世界経済の鈍化や原油価格の急落が重石となる可能性があります。なお、原油価格の下落は同国石油産業の収益性を低下させる要因となるものの、今後数年間は堅調な設備投資の伸びが予想されています。
- カナダの経済指標は2018年末にかけて減速傾向となりましたが、全体的には予想の範囲内の伸びでした。貿易に対する不透明感から企業の設備投資は減少したものの、11月末に新たな貿易協定USMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)への署名が行なわれたことなどから、エネルギーセクター以外の分野で設備投資の回復が予想され、輸出の増加につながると見込まれます。

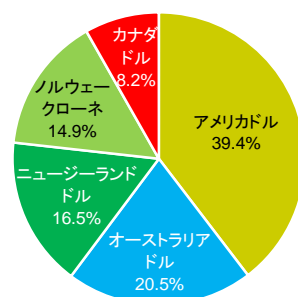
<投資通貨(対円レート)の推移>

(2015年11月6日(設定日)～2018年12月31日、投資通貨は2018年11月末現在)



<実質通貨別投資比率>

(2018年11月末現在)



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。